

みんなで考え、工夫して運動の前進を

金融労連近畿地協第15回定期大会

金融労連近畿地協は、コロナ禍のもとで参加者の健康・安全を守る観点から、第15回定期大会を本部と同様に書面決議とすることにし、10月31日、西日本事務所で開催しました。

この日の大会には、大会議長の浦野弘代議員と近畿地協岡野議長、事務局員などが議案採択、役員選挙などの開票作業にあたりました。

大会構成員は、代議員定数11名中、11名（委任状含む）、役員13名中12名（委任状含む）の合計23名が出席しました。

事前に配布した大会議案に対しては、特に意見などが寄せられなかったため、会計監査報告を含めた議案（第1号議案「総括・運動方針」、第2号議案「2020年度決算」、第3号議案「2021年度予算」）に対する採決の開票作業に入り、代議員全員一致で採択されました。

引き続き、新年度の役員選挙の開票が行われ、立候補者全員が満票で信任され、各組織から推薦のあった幹事の承認も行われました。

選出された新役員は次の通りです。

近畿地協新役員（敬称略）		
議長	岡野 展子	池田泉州従組
副議長	後藤 光明	京都北都従組
事務局長	阿部 正巳	京都北都従組
事務局次長	坪倉 大輔	京都北都従組
事務局次長	松島 照男	金融ユニオン大阪
事務局次長	伊藤 宗孝	金融ユニオン直属
会計監事	小中 幸子	金融ユニオン直属
会計監事	辻 昇三	金融ユニオン直属

各組織から推薦され大会で承認された幹事は次の通りです。

新幹事（敬称略）		
吉 良	元 宏	京都北都従組
糸 井	孝 志	京都北都従組
山 崎	幸 雄	金融ユニオン滋賀分会
太 田	美 穂	金融ユニオン直属分会
松 原	久 仁 彦	金融ユニオン直属分会

【大会開催にあたって寄せられた議長あいさつ】 （近畿地協議長 岡野展子）

爽秋の中、地協の皆さんと大会での討議が叶わないのは大変残念です。

大阪は他県に比べて、依然感染者の収束が見えず、府県を超えた交通機関での移動もリスクが伴う為、皆さんの安全を考慮して書面開催となりました。

かつてない取り組みで不自由な点多々ありましたが、書面での決議にご協力頂き感謝致します。アベノミクスの誤りが鮮明になり、様々な疑惑にも蓋をしたまま退任した安倍政権の継承を方針とし、9月16日菅内閣が発足しました。

自らも「自助・共助・公助」を目指す社会像とし、政治責任を放棄する発言をしています。学会会議員の任命拒否からも菅首相の本質が見え、社会的批判が起きています。

新型コロナウイルス感染拡大による健康や生活の困難さは1980年代からすすめられてきた、病院の統合、保健所の統廃合、雇用流動化政策への転換など「小さな政府」論によってもたらされました。菅首相は地域金融機関の統廃合にも言及しています。

コロナ禍でも、私たち地域金融機関は地域の中小零細企業等を支えるため営業を継続しています。今後の金融機関に求められているものは企業への積極的な経営改善支援、資金需要の掘り起こし等、手間暇のかかる業務です。

先の見えないコロナ禍の中で、執務室ではスプリットや段ボールの仕切りに囲まれ、交代勤務、テレワーク、テレビ会議等々、ソーシャルディスタンスの下、職場でのコミュニケーションも取り難しくなっています。

このような状況下こそ、組合には情報の発信源としての役割、コロナ禍で益々多様化する働かされ方の問題に対して、規制強化、働くルールの確立を目指す取り組みが求められています。

大会議案書にも取り上げられていますが、大阪維新の会の政治戦略を打ち破り、維新政治を転換する最大の突破口となる「大阪都構想」を食い止めることは、大阪市のみならず大阪全体の問題として、明日11月1日の住民投票に向け、各地での宣伝活動等々が全力で取り組まれています。

私たちは立ち止まってはいられません。コロナ禍の中で、出来る事、どうしたら出来るのか、みんなで考え、工夫しながら運動を前に進めていきましょう。

金融ユニオン

京都北都信金分会を結成

10月17日、京都府綾部市の市民ホールで、京都北都信金のOBが中心となって「金融ユニオン京都北都信金分会」の結成大会が行われ、8名が参加しました。

結成大会で確認された運動方針では、「京都北都信金従組は、2002年11月の5信金合併前結成した歴史的・感慨深い『10・6組合統一大会』の後、上部団体加盟に異論を唱える数名の発起人により第二組合が結成され分裂しました。しかし、長年にわたり従組幹部を中心とした多くの仲間の懸命なる奮闘により今もなお多数派組合を維持し、金融労連加盟の中で、西日本最大規模を有する唯一の組合です。しかしながら、長きにわたり組合の中心的存在として奮闘してきた幹部活動家が、ここ数年間で定年等により次々に退職し、組織活動の弱さも見られ、その対策強化が重要な課題となっています。(中略)このような状況の中で、永年労働運動に関わってきた我々従組OBとして、従組のサポーターとして、状況打開の為に協力共同の立場で、現役の幹部、組合員を励まし、知恵と力を出し合い、仲間の要求実現に向けた取り組みや学習活動・組織活動の改善策など必要な支援・アドバイス活動を展開します。また、全国の仲間とも連帯し金融労連の活路・活性化・再構築に向けた活動に努めます」と、分会結成の趣旨と方針が述べられています。

結成大会には、金融ユニオン本部・近畿支部・東海支部・大阪分会、さらには、10年ほど前から定年退職が続き組合運営の危機的状況の中でOBのサポートによる組合存続を果たし、現在も奮闘されている「函館信金従組」からもメッセージが届けられました。



分会の結成を祝して、金融ユニオン本部から参加した田畑書記長は「激動の時期に共に闘ったOBの皆さん熱い思いに深く感謝します」と挨拶しました。

討論では、9月に行われた「京都北部の経済を語り合う集い」に参加した中での感想や、従組の組合員拡大の取り組み、職場では「仕事のさせられ方や経営のあり方を憂慮している」心ある仲間の声も反

映させていきたい、組合へ新たに成果主義賃金導入が提案されていることなどが出されました。

分会規約、運動方針案、組合財産と暫定予算案など、全ての議案が全員一致で採択され、新役員が選出されました。

金融ユニオン所属の「京都北都信金管理職分会」の組合員は3名全員が「京都北都信金分会」に合流し、分会は合計10名の組合員によって発足しました。

分会の新社役は次の通りです。(敬称略)

執行委員長	荒砂 浩二
執行副委員長	後藤 光明
執行副委員長	阿部 正巳
書記長	福井 悦雄

不誠実団交の「見本」?

あきれた大阪シティ信金

金融ユニオン近畿支部は、来年60歳定年を迎える大阪シティ信金の『K組合員の再雇用に関する労働条件』の明示と、総額1千4百万円以上にものぼる、20年を超えるK組合員への『臨給減額となる人事考課結果』について、9月18日に10月1日の団体交渉開催を申し入れました。

しかし、信金側の都合で、団体交渉の開催は10月16日に延期されました。

これまで、同信金は組合側の団体交渉開催申入日を必ず延期してきていましたが、今回も「来期のリクルート作業」を理由に延期となりました。

組合は、前夜の対策会議での議論をふまえて、団体交渉当日の10月16日朝、人事部長に直接、電話で最新の「定年再雇用規定」、K組合員の直近5年間の「臨給評価シート」などの協議資料を準備するよう申し入れ。人事部長も「了解」しました。

しかし、同日夜の団体交渉には約束したはずの資料を持ってきていませんでした。

大阪シティ信金には職場に労働組合がないということ差し引いても、この日の団体交渉の対応は労使交渉の「イロハ」さえ知ろうともしない無責任な経営姿勢そのものです。

高圧的上司は「信頼されない」

人材派遣・紹介のマンパワーグループが行なった、入社2年目の正社員男女(22~27歳)を対象にした「信頼されない上司像」の調査では、

第1位 高圧的な言動(38.8%)

第2位 人によって対応が変わる(35.8%)

第3位 仕事の指示がわかりにくい・相談しても

助言なし(28.4%)でした。「良いところをほめてくれる」上司になりたいものですね。